

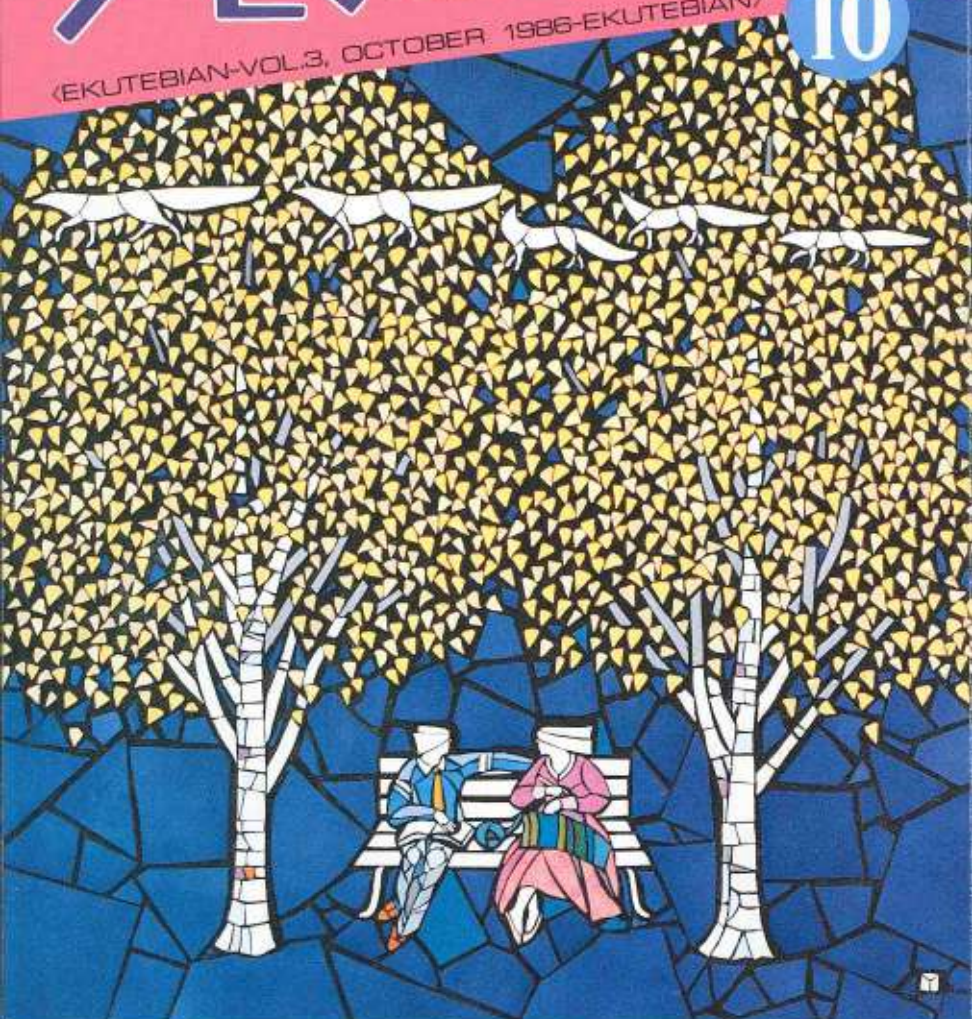
月刊

立川と語ろう 立川に生きよう

えくてびあん

〈EKUTEBIAN-VOL.3, OCTOBER 1986-EKUTEBIAN〉

10



まい あーと・モザイク画「秋の午後」by 土肥 邑子



地唄／小倉満智子さん
(羽衣町2丁目)
妹さんとの呼吸もピッタリと。
・藤間環互さん

端唄／稲邑香及さん
(錦町1丁目)
「若いこは覚えが早いわね。」
・お弟子の皆さん



長唄／杵屋彌三伊登さん
(富士見町2丁目)

左から岩沢さん、山田さん、馬場さんの
稲吉。三人とも先生のもとに来て
長いだけにさすがに堂々の演奏ぶり。



津軽三味線
千田照広さん
(栄町5丁目)



浪曲／荒井徳衛さん
(曙町2丁目)
清い声の浪花節、奉仕人生心イキ。
慰問に行きます韓国までも。
・竹川敏彦さん



小唄／都 圭照さん
(錦町2丁目)
イキなつまびき、チリチリト。
・藤本恵美子さん・平山佳依さん



民謡／藤本秀三保さん
(曙町1丁目)

尺八のご子息と音合せ。至成学舎で
ボランティアの上げいこも。
・米谷一保さん・平山恒二さん



藤川真紀さん



立川三味線好み



パリの秋にはヴィオロンが、立川の秋には三味の音が似合うと昔から云われてきました。唄にオンチはあるけれど、三味線ならば思いのままよ。ほら、露路を曲がると聴こえてきます、チーン・トーン・シャーンの小粋きな音色。豪快に響く太竿の音。秋の日の、三味線の、ためいきの……、季節をのせてやってきました。





「ボク」おぼつちやま



おぼつちやまコンテスト、テレビ子たちが舞台上に整列。お金持ち、力持ち、エトセトラ。三調子そろって? かわいかったですな!

愛らしい仕草にはのほのとした一時、会場が見守るあつたかい微笑み、護訪まつりの一コマである。



うてたて伏せて力をみせも、さとしクン。



トップは双子のにしやま兄弟、りりしいおぼつちやまぶり。

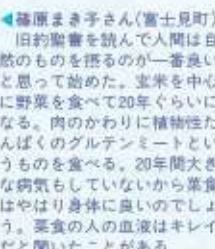
ナチュラル 菜食主義者は 自然な健康人。

飽食の現代に野菜しか食べない人達がいる。別に偏食をしているわけではない。植物性のものですべての栄養がまかなえるという。むしろ身体のことを考えると菜食になるとさえいのである。

この確固たる自信はどこからくるのか菜食にしたきっかけあたりから聞いてみることにした。



竹内菜美さん(高松町) もともと肉はあまりたべなかつたが食物には関心があつた。たまたま私達夫婦の仲人をしてくれた方がお寺の方で自然食品に詳しく、その方のお話を聞いてみるうちにだんだん菜食になつた。玄米が大好きで、1年間食べている。菜食をしていると睡眠時間が短くても大丈夫、いねむりなども悪くならな



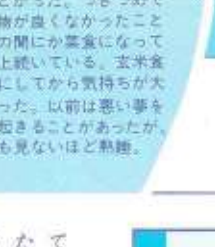
藤原まき子さん(富士見町) 旧約聖書を讀んで人間は自然のものを作るのが一番良いと思つて始めた。玄米を中心に野菜を食べて20年ぐらいいなる。肉のかわりに植物性たんぱく質のグルテンミートというものを食べる。20年間大きな病気もしていないから菜食はやはり身体に良いのだと思う。菜食の人の血液はキレイだと聞いたことがある。



石田文雄さん・空也くん(高松町) 色々な市民運動に参加しているうちに人間は自然に生活するのが良いと考へるようになった。玄米食で8年以上続けている。うち一家で菜食です。以前はお酒が好きで、酒を飲むようになってから変わった。いつもゆったりとした気持ちでいられる。



口石早苗さん(高松町) 友達から食品添加物の怖さを知らされて添加物を摂らないように食べようといふので、一年以上続けている。以前は身体が重く感じて立ち仕事も辛かつた。菜食にしてから身体が軽くなり立ち仕事も辛くなくなつた。玄米と野菜を食べている。



小川 武さん(高松町) 体調が悪いことが続き、特に持病の痛風症がひどかつた。つきつめて考えると食べ物と関係が深くなつて来た。2年以上続けている。玄米食が中心。菜食にしてから気持ちが大分よくなった。以前は悪い事を見て喜びがちなことがあつたが、今では夢も見ないほど熱心。

立川・歴史のひとコマ

砂川には水田がありません。これは武蔵野台地の地下水位が低く土地が乾燥しているため水田には適さないからなのです。江戸時代初めからこの開墾にあつた農民は、乾いているうえにやせた土地を、地力のある良好な土壌にするため大変な辛苦を重ねました。そのうえ、しばしば天災や冷夏などで凶作にみまわれ、苦しい生活を続ける村人の心の拠りどころとして、一六二九年に阿豆佐味天神社が村山の殿ヶ谷村(今の瑞穂町)より勧請され、以来砂川の鎮守として人々の崇敬を集めてきました。

この神社に古くより伝わる行事として、大みそかから元旦にかけての「かがり火」があります。暮れのすず払いの時に取りはずした古いお札やおかざり、グルマなどが除夜の鐘と同時に焼かれます。昔は桑の枯れた根っこなども一緒に焚かれました。これは「根っこもら」といって、砂川四番の男の子たちが「根っこくんない」と言いながら五日市街道の家々をまわって集めたものでした。この日は境内にグルマの朝市もたち、初詣客でにぎわいます。



この阿豆佐味天神社の本殿の東に蚕影神社が祀られています。暮の「蚕影さま」は絹糸の原料である蚕の守護神で、一八六〇年に菅原国豊浦淡(茨城県筑波郡)より分社されました。砂川の蚕は江戸中期におこり、幕末から昭和初期がその最盛期で農家の貴重な現金収入源となつていました。「まゆだま」はこの蚕につながらる重要な民俗行事です。繭があたる(多くとれる)ようにと祈りをこめて、小正月(一月十五日)に米の粉をこねて繭に似せたダンゴを作り、ナラヤカシなどの木の枝にさして「まゆだまの木」を作ります。これを座敷に飾り、うしろに蚕影さまの掛軸をかけて灯明を

ふれあい さわやか

山梨中央銀行 立川支店

〒190 立川市高松町2-16-13 TEL 0425-26-1571

漢字テスト ⑨

空欄に二字押入を試みよ。

雲 □ 林 一 枝

中 □ 白 □

表紙は語る

土肥色子さんがモザイクを始め、30年がたつ。もともと壁画だったモザイクを凝縮させて絵画のようになり、モザイク画という新しいジャンルを創りあげてしまったという。うからその熱意はなみではない。タイトルという冷たい素材が土肥さんの手にかかると命をよめられ、暖かな絵の主役になり、土肥宇宙が出現する。ある若い男性が土肥さんの作品を見て「自分が恥かしくなつた」という。俗世間で汚れた心が土肥宇宙を漂ううちに清浄になつたのか、土肥さんの作品には熱いメッセージがちりばめられている。

表紙は語る

土肥色子さんがモザイクを始め、30年がたつ。もともと壁画だったモザイクを凝縮させて絵画のようになり、モザイク画という新しいジャンルを創りあげてしまったという。うからその熱意はなみではない。タイトルという冷たい素材が土肥さんの手にかかると命をよめられ、暖かな絵の主役になり、土肥宇宙が出現する。ある若い男性が土肥さんの作品を見て「自分が恥かしくなつた」という。俗世間で汚れた心が土肥宇宙を漂ううちに清浄になつたのか、土肥さんの作品には熱いメッセージがちりばめられている。

表紙は語る

土肥色子さんがモザイクを始め、30年がたつ。もともと壁画だったモザイクを凝縮させて絵画のようになり、モザイク画という新しいジャンルを創りあげてしまったという。うからその熱意はなみではない。タイトルという冷たい素材が土肥さんの手にかかると命をよめられ、暖かな絵の主役になり、土肥宇宙が出現する。ある若い男性が土肥さんの作品を見て「自分が恥かしくなつた」という。俗世間で汚れた心が土肥宇宙を漂ううちに清浄になつたのか、土肥さんの作品には熱いメッセージがちりばめられている。

ジョイント・コンサート盛大

立川市合唱連盟

去る九月七日、立川市合唱連盟と「東京電力株式会社立川営業所」が主催して立川の合唱団が市民会館に集い、初のジョイント・コンサートを試みた。

特に第一部においては「全体合唱」でカトリック・カトリックを交響せましと歌いまくる。合唱熱をいやが上にも盛りあげていった。第二部「日本歌曲とカンツォーネ」を歌つて、は新垣寿子、小波津隆、中村聡、境敬彦といった指導陣がお手本をみせ、歌つ市民へ一歩近づいた。

明日のわが街を考へる市民の集い

ナイスガイ

NICE街! 立川宣言 9.28

記念講演 鈴木健二氏

NHKリポーター 9月28日(日)PM14:00 立川市民会館

たちかわ青年経済人会議

主催: NICE街 立川青年会連盟 後援: 立川労働会連所

「中村道雄 劇本節の世界」

10月16日(水) - 21日(水)

於: 西武百貨店 5階5期

本日は月曜の休演(祝日)のため、中村道雄氏の作品が休演です。

立川市立劇場「中村道雄」の劇本が面白い。見ると作風が面白いです!

表紙は語る

土肥色子さんがモザイクを始め、30年がたつ。もともと壁画だったモザイクを凝縮させて絵画のようになり、モザイク画という新しいジャンルを創りあげてしまったという。うからその熱意はなみではない。タイトルという冷たい素材が土肥さんの手にかかると命をよめられ、暖かな絵の主役になり、土肥宇宙が出現する。ある若い男性が土肥さんの作品を見て「自分が恥かしくなつた」という。俗世間で汚れた心が土肥宇宙を漂ううちに清浄になつたのか、土肥さんの作品には熱いメッセージがちりばめられている。

真如苑だより

やわらかな秋の日差しに、自然が色濃く息づきます。生命のうたが聞こえてくるようです。真如苑では今月も皆様のおしごとをお待ちしております。お気軽においでください。

日時 10月11日(日) 午後2時~4時

■御本尊、真如宝物館をはじめとして映画など盛りだくさんの用意がしてございます。

■立川市民(成人)に限らせて頂きます。

■お申し込みは「えくてびあん」コンパニオン(本誌)を手渡してくれたい人へ。

立川クイズ

立川に市政がひかれてから、現市長・岸中士良氏は何代目の市長になるでしょうか。

①9代目 ②11代目 ③14代目

9月号の答え「清流が復活して話題になっている玉川上水ですが、西の方から、松中橋、一番橋、天王橋、稲荷橋、新築橋、見影橋、金毘羅橋、宮ノ橋、千手橋、清願院橋、小川橋と十一の橋があります。ただし小川橋はほとんどが小平市で一部が立川です。 答えは②。なお8月27日に玉川上水の清流復活とともに小川橋と清願院橋の間に「じょうすいこぼし」という新しい橋が出来ました。したがって現在は12の橋が立川市内にあります。

月刊「えくてびあん」第27号

昭和六十一年十月一日発行

発行所 えくてびあん編集工房

東京都立川市柴崎町2-4-11

ファイナンシャル・サービス

電話 0425-26-0082

編集人 立井啓介

発行人 沖野野男

印刷所 株式会社立川印刷所

表紙は語る

土肥色子さんがモザイクを始め、30年がたつ。もともと壁画だったモザイクを凝縮させて絵画のようになり、モザイク画という新しいジャンルを創りあげてしまったという。うからその熱意はなみではない。タイトルという冷たい素材が土肥さんの手にかかると命をよめられ、暖かな絵の主役になり、土肥宇宙が出現する。ある若い男性が土肥さんの作品を見て「自分が恥かしくなつた」という。俗世間で汚れた心が土肥宇宙を漂ううちに清浄になつたのか、土肥さんの作品には熱いメッセージがちりばめられている。

表紙は語る

土肥色子さんがモザイクを始め、30年がたつ。もともと壁画だったモザイクを凝縮させて絵画のようになり、モザイク画という新しいジャンルを創りあげてしまったという。うからその熱意はなみではない。タイトルという冷たい素材が土肥さんの手にかかると命をよめられ、暖かな絵の主役になり、土肥宇宙が出現する。ある若い男性が土肥さんの作品を見て「自分が恥かしくなつた」という。俗世間で汚れた心が土肥宇宙を漂ううちに清浄になつたのか、土肥さんの作品には熱いメッセージがちりばめられている。

表紙は語る

土肥色子さんがモザイクを始め、30年がたつ。もともと壁画だったモザイクを凝縮させて絵画のようになり、モザイク画という新しいジャンルを創りあげてしまったという。うからその熱意はなみではない。タイトルという冷たい素材が土肥さんの手にかかると命をよめられ、暖かな絵の主役になり、土肥宇宙が出現する。ある若い男性が土肥さんの作品を見て「自分が恥かしくなつた」という。俗世間で汚れた心が土肥宇宙を漂ううちに清浄になつたのか、土肥さんの作品には熱いメッセージがちりばめられている。

表紙は語る

土肥色子さんがモザイクを始め、30年がたつ。もともと壁画だったモザイクを凝縮させて絵画のようになり、モザイク画という新しいジャンルを創りあげてしまったという。うからその熱意はなみではない。タイトルという冷たい素材が土肥さんの手にかかると命をよめられ、暖かな絵の主役になり、土肥宇宙が出現する。ある若い男性が土肥さんの作品を見て「自分が恥かしくなつた」という。俗世間で汚れた心が土肥宇宙を漂ううちに清浄になつたのか、土肥さんの作品には熱いメッセージがちりばめられている。

創る人がいて、味わう
人がいる。この華麗な
る当り前の世界— 4

立川 御馳走 走館



華盛樓が立川に店を張ったのは、昭和25年であった。敗戦後のモノのない時代を必死に生きた劉美蘭さん。北京の生まれ、家が料理店をやっていた、幼ない頃に見よう見まねで覚えた味と技術が彼女を救った。いま、ご主人と睦まじく店をきりまわす「寺内ハル」さんの笑顔、北京の家庭料理ここにありだ。錦町1-3-28 ☎22-4604



北京の「庶民の味」を作り続けた星霜を笑顔につつんで、今日も火の前に立つ。とことん打ち込む性格は、自前の野菜畑の実りを提供するまでになった。



紅豆豆腐 800円



特製ギョウザ 520円



ホルモン旨煮 800円

ハルさんの料理は、手間とヒマいとわな
ない、中国のまごころの味と自負する。

